

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を實踐し、をやの理を戴こう

本年の實踐項目

つとめに専心

百万軒にをいがけ

全教会で陽氣ぐらし講座開催

新年 明けまして

おめでとうございます

昨年は皆様のお力添えを頂いて、本当に結構に勤めさせて頂くことが出来ました。誠に有り難うございました。振り返ってみますと、世情では世紀末思想や予言に踊ら

たの三年千日の成人の歩み出しの年として位置づけ「ためらいを捨て勇んで百万軒」を合言葉に、実動に邁進した一年でありました。お陰を持ちまして十月には百万軒を達成することが出来、十一月には喜びの集いを開催し、共々に喜びの年として味わうことが出来たのであります。

た『論達講習会』や『よふぼく躍進地方講習会』が、無駄にならないよう活動を進めて欲しい。」との思召をお聞かせ下さいました。よふぼくの世界たすけの実動こそがその主旨であります。そこで本年は、創立百十周年に向かう二年度として、昨年の実績を基により一歩前進すべく

ずは無いと思いつつも、一方ではもしかしたらと思う気持ちもあって不安にさいなまれた一年であったように思います。結局何も起こらずホッと胸をなで下ろしたのもつかの間、今度は二千年問題で不安をつのらせ、いよ／＼年が明けるその瞬間まで気をぬくことが出来なかったのであります。その中においてお道ではその逆に一昨年の真柱継承という喜びの気持ちそのままに、論達実践の年、加えて笠岡創立百十周年に向け

（千年紀）ということでは昨年を払い除けるかのように、良い年になるのではないかという期待と、良い年にしたいとの思惑が入り交じって多少の盛り上がりを見せているようですが、経済等まだ不安は拭い切れていないようであります。そんな中だからこそ、私達は生かされている喜びを胸に、世界一列を助けたいとの親心を、少しでも世の人々に伝えていく努力をしなければならぬと思えます。

を實踐の柱として、成人の道を歩ませて頂きたいと存じます。何卒、本年も皆様方のご理解とお力添えを頂いて、親神様、教祖にお喜び頂ける一年になればと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

笠岡大教会長

上原理一

百万軒 達成 喜びの集い 記念講演

生きていく感動を伝えよう

山本利雄 先生

これは、昨年十一月二十一日、大教会で催された「百万軒達成喜びの集い」に、本部直属江戸分教会長・山本利雄先生をお迎えして行なわれた記念講演の全文です。要約すると意を損ねるおそれがありますので、原文のまま掲載いたしますので、関西弁で音読して、活字にできないニュアンスをお酌み取りください。

どうぞ脚を崩して、楽にお付き合いを宜しくお願ひします。ご遠慮なく。

人を救ける心になろう

今年は九月から十二月まで、ご存じの「ようぼく躍進地方講習会」が開かれております。その精神を貫くもの、それは『諭達第一号』であります。ご存じの通りであります。去年の十月二十五日、私も本当に感動の極に達した『諭達第一号』の、発表でありました。その冒頭に

立教の本旨は、

天理教って何するんか
……

『このたび、世界一れつをたすけるために天降った』と仰せられるように、世界中の人間を余すことなくたすける……

この時、僕は電気が走ったように感じました。信仰した者だけが御利益をもらう宗教じゃないんです。「世界中の人間を余すことなくたす

上げる」——実に誇り高い感動的な一言でありました。ここに僕たちよふぼくの誇り高きロマンに輝く使命感が湧いてくる根拠があると、私は思います。そして、

その思召を体して世界たすけに向かうことこそ、この道を信ずる者の第一の務めである。そうお示しくくださったのであります。正に『諭達第一号』——人を救ける心になろう——ということでありました。

自分が助かるために

現実に、皆さん、入信の動機を振り返ってみて

ください。「ひとつ、人を救けてやろう」と思っ
て信仰に入つた人は余りいないと思うんです。我
が江戸分教会に数は少ないが、「ちよつと、天理
教の会長さん、私、世界の人を救けたいから信仰
したいと思うが……」てなのは、今まで一人もあ
りません。やはり、自分の身上、そうですね、わ
が家の事情、を助けていただきたい、そういう思
いから入信した人が殆どであろうと、私は思いま
す。

ま、正直申して、最初、教会来た人に、人を救
ける心なんかなかっただろうと思います。『おふ
でさき』にも

いままでハせかいちううハ一れつに

めゑくしやんをしてわいれども 十二号89

銘々思案した、自分の身上、わが家の一家の事情、
しかし、

なさけないとのよにしやんしたとても
人をたすける心ないので 十二号90

その通りであります。人を救ける心、ありますか、
皆？ やつぱり自分の方が大切であります。

そこで、初代の先生方は、教祖の許へ行って、
「身上、助けてもらいたい」、「事情から解放して
もらいたい」、そうお願いしたら、教祖は、「案ず
ること要らん。たすけてやろう。」と仰つたんで
すね。「どうしたら助けてくださいますか？」と
教祖に訊いたら、教祖は「人を救けなさい」と仰つ
たんです。

人を救けて、我が身救かる。



これから八月日たのみや一れつわ

心しいかりいれかゑてくれ

この心どふゆう事であるならば

せかいたすける一ちよばかりを

と。「あんた、助かりたかつたら人を救けなさい。」

そこで、おそらく初代の先生方は、人だすけな

んかどうでもいいんですけども、自分が助かりたい

一心で「へえ、人を助けたら儂が助かるのか！」

と、自分が助かるために人を助けに出たというのが、私は、本心であろう、そのように思うのであ

ります。

すなわち、自分が助かりたい一心で、人を助ける

ことに情熱を注いだのであります。最初は、自分

が助かりたい一心で、人を助けることに情熱を

十二号 91

十二号 92

十二号 93

十二号 94

十二号 95

十二号 96

十二号 97

十二号 98

十二号 99

十二号 100

十二号 101

十二号 102

十二号 103

十二号 104

十二号 105

十二号 106

十二号 107

十二号 108

十二号 109

十二号 110

十二号 111

十二号 112

十二号 113

十二号 114

十二号 115

十二号 116

十二号 117

注いだのでありますが、やってる内に、人を救ける生き方の素晴らしいことに目醒めていかれたのであります。

初めは、自分が助かりたいから、仕様ないから人を助けたんです。けれど、やってる内に、「これは、面白い生き方やなあ」と……。

『おかさきざげ』に、皆さん殆どよふぼくでしょう？

これまで運ぶという、尽すという。運ぶ尽す中に、互い扶け合いという。互い扶け合いというは、これは論ず理。人を救ける心は真の誠一つの理で、救ける理が救かるという。

という有名なお言葉があります。

人を助けるために教えの理を聞き分ける内に、「世界一れつを救けたい」との親神様の思召が自分の心になつて、たすけ一条の道に成人していかれて、今日のお道を築かれたと思うのであります。

その結果、最初は、自分が助かりたいから、仕様がなから、人を助けたんですが、その内に、自分が助かりたいということは忘れてしまつて、たすけ一条の道に生涯を捧げられたのであります。

「こんな生き方があったのか!?」

生まれてから今日まで、我さえ良くば、お互いそうすねえ、今さえ良くば、という、我が身我が家のことだけで生きてきた。だが、「人を救けて我が身救かる」という生き方があるんだと、正に価値観の大変革であります。生きながら生まれ更わるのであります。やってみないと解らんであります。

これが、たすけ一条の道の出発点であり、目先の御利益宗教から本当の宗教への大転換であります。

親神様は、世界中の人間をたすけ上げたい一条から、よろづたすけの道としてかぐらづとめをお創めくださいました。

ご存じのように、かぐらづとめと申しますのは、選ばれた十人のつとめ人衆がかんろだいを取り囲み、親神様がなから人間ない世界をお創めくださいましたお働きの理を手振りであらわすおつとめであります。ご存じの通りであります。

「てんりわうのみこと」の最後の手振りが十人も違う。それは、何を表現しているか。私共の誇り高い信仰は、自分の都合に合わせた明日の御利益を願うものでは断じてないのであります。

親神様の御守護とは、約九億年前に夫婦で子どもを宿し込まれてから、さかなから、虫、鳥、畜類と、そして、猿から人へと、生まれ更わり出更わりして、今ここに、私が生きており、あなたが

御守護先取りへの感謝

この具体的な歩みとして、教祖はひな

生きている。並大抵の守護じゃないのであります。だから、親神様の守護は、今ここに生きていることとあります。

キリスト教の牧師さんが生きていらつしやるのも親神様の守護であります。お寺のお坊さんが生きていらつしやるのも親神様の守護であります。天理教を信仰した者だけ生きているのでは、さらさらないのであります。

すなわち、親神様の御守護は、ありとあらゆるものが先に戴いているのであります。信仰してからもらうんじゃないんです、親神様の御守護は。言葉を換えますと、「御守護先取り」であります。

これが、天理教信仰の根幹であると、私は思うのであります。

だから、かぐらぶとめの祈りは、自分だけな御利益祈る祈りではないんです。「隣の商売だけ潰れても、自家^{うち}だけ繁盛するように、てんりわうの……」、そんな恥ずかしくて止めましょうや。儂とこだけが栄える天理教じゃないんです。「世界中の人間を余すことなくたすけ上げたい」という思召なんであります。

だから、天理教の祈りは、既に先取りしている元初りの御守護、それに対する報恩感謝の信仰であります。今までは、出世すること、儲かること、それがええことやと思っていたけれども、その前に、生きているってのは大変なことなんやと、何もなくとも、貧乏でも、生きている、十分じゃないかと、九億年かかってお創^{つく}りくださった、今

ここに生きている「御守護先取り」に対する、報恩感謝、御礼の祈りであります。これが、私共の信仰の根幹であります。

生きている喜びを伝えよう

そして、その感謝の方法、親神様に「御守護先取り」を感謝する、その最高の方法は、この御守護をまだ知らないでいる人々に伝えるに、いかけ・おたすけであります。では、いおいがけ・おたすけとは、「御守護先取り」しているこの事実、生きていること、それで十分ではないか、それをまだ知らないで名誉欲・物欲の欲ボケにはしている人々に、生きている喜びを伝える、それが我々よふぼくの使命であろうと思います。

そして、その布教の道の路銀としてお渡しくださったのがさづけの理であります。おさづけの理は、病だすけのみが目的ではないのであります。それを通して、親神様の御守護を先取りしていることに目醒めていただく、それが、おさづけの理の取次であります。

私共のおたすけは、拝み祈祷に類するものではなく、また、「こういう病気は、こんな点がいけないからだ」とまるで自分が見てきたように「前生こんな因縁がこんな病気になる」と伺い立てをするような教えではないのであります。

たすけでもをかみきとふでいくてなし

うかがいたて、いくでなければど
と仰っているんです。 三号45

このところよろづの事をとき々かす
神いちじよでむねのうちより 三号46

ガンの治り方を説き聞かすんじゃないんです。ガンを治ろうと思つたら、先ず、ガンにならなあかんのです。ガンになろう思つたら、生きとらなあかんのです。その生きている元初りの守護、これがよろづのことなんです。

今ここに生きているよろづのことを説き聞かすから、神一条の心になってくれ……

わかるよふむねのうちよりしやんせよ
人たすけたらわがみたすかる 三号47

天理教のたすけとは、このよろづ元初りの守護を一人でも多くの人に伝えていく、それが、我々よふぼくの誇り高い使命であります。

拝み祈祷や伺い立てをするような説き方は、教祖の場合には、全くないのであります。

初代の先生方は教祖に教えられた通り、どんな病人の枕元でも、「お前は、前生、こんなことを……」そんなことをしておりません、「よう聞けよ。この世の元初りは泥の海であった……」という、元初りの守護・人間を創造つてくださった親神様の守護を諄々として説かれたのであります。早い話が、おさづけの徳を戴くつちゅうけども、あれ、よう考えたら、自分には、さつぱり役に立たないのであります。

キリスト教から天理教になった、自^{うち}教会の信者

さんのお婆さんいました。満席まで運んでくれました。「今日は、お宝頂戴やな!」「ハイハイ、先生。ありがとうございます。ところで、先生……」「何ですか?」「それをもううたら、私の病気のときにどない役に立つんですか?」って言われたんです。よう考えたら、ちよつと待てよ、ちよつとも役に立たんのです。

案外、それに、皆さん、気が付いていらつしやいますか?

自分が病氣、私、今、腰が痛いんですけれども、「南無天理王命……」そんなことしたつてあかんのであります。これは、人に取り次ぐんであります。人をたすけるおさづけの理であつて、自分が助かる道ではないんであります。天理教は、「人救けたら、我が身救かる」という道を進んでいくのであります。

我々の信仰の一番根幹、それは、生きている感動であります。この生きている感動を、陽気ぐらしの根幹の「喜び」に伝えるのが私たちの使命であります。

生きている感動を支えたもの

ところが、我々が、おたすけの対象にする、今の日本人、僕は、絶望の民族だと思えます。このままでは、二十一世紀に、日本民族は、先ず、人類の最初に滅びる方に入っているでしょう。そし

て、悲しいことに、日本人自身が、そのことに気付いていない。果たして、皆さん自身が、日本民族の絶望を気付いていらつしやるでしょうか。

僕は、大正十三年の生まれであります。昭和二十年には二十歳の青年でありました。その時に、日本人に、——思い出してください。若い人は、その後、生まれた人、そんなことはどうでもええ。想像してください、年寄り。思い出しましよう。

——日本は世界で一番惨めになつたんです。

大都會では、食糧の配給が始まなくなりました。米の二合三勺なんかありません。特に大都會は悲惨でした。覚えてますか? 大豆滓が配給になつた。大豆滓はね、パラパラして、雑炊の団子にもならんのですよ。私は京都大学へおつたけども、あんなものパラパラして団子にもなりませんよ。そこで、大都會では、——思い出すなあ——

薩摩芋の茎と葉っぱが配給になつたんです。覚えてるかなあ。薩摩芋の茎やで、芋違うで、あんだ。芋やつたら旨いけども……。茎と葉っぱがね、しかも一人何グラムやで。それと大豆滓。思い出すでしょう。

あの薩摩芋の茎と葉っぱはね、粘り毛が出るんです。で、あれをチヨンチヨンチヨンチヨンと刻んで、それで、あのだ豆の絞り滓のあれと、こう混ぜたら、粘つて団子になるんですよ。それを雑炊にポトンと落としたり、これが、固まつた団子になるんですよ。それを喰つていた。わずか、皆さん、五十年前ですよ。この欲ポケ日本人に私は本

当に言いたい。わずか五十四年前、世界で一番貧乏やつたんです。そうでしょう?

そこへ進駐軍やつてきた。腰抜かしたわ、余りにも豊かさに。今でも覚えてます。進駐軍が携帯用のいざいざときの弁当持つて、弁当、兵隊に見せてもろた。ほんなら、なんとまあ、一食分やでえ、携帯用の。こんなねえ、チーズの棒が入つてる。私は、チーズつちゅうのは向こうが見えるくらい薄う切つてね、ビールのつまみにするもんやと思うとつたら、あいつら、この棒を一つ喰いよるんですよ。ほいで、ピフテキ、パン、で一食に煙草五本つて付いとるんですよ。それが、野戦の携帯用の弁当。こつちは薩摩芋の葉っぱと茎と大豆滓。ようこんな奴と戦争したなど、喰い物で一番思いましたね。

日本が世界で一番貧乏でした。しかも、私は、旧制広島高等学校だった。原子爆弾で、もう、草も生えんやろうといわれた。長崎にも。それから、東京・大阪を始めとした主要都市は、B29の無差別爆撃で日本の土地は殆どが灰燼(灰と燃えさし)に帰した。瓦礫の山と腹べこの日本、だつたわけです。たつた、皆さん、五十数年前です。

沖縄は、本土の中で、ただ一つ戦場になつて、住民の六割が死にました。今でも覚えてますよ。昭和二十年六月二十三日、海軍総司令官太田中将か、それが、最後に電報を打つた、大本營へ。「沖縄県民かく戦えり。この県民に対して、後世、特別の御高配を賜わらんことを。」名演説でありま

す。そして、海軍太田司令官以下、玉砕して死んでいったのであります。わずかに五十年前の出来事でありませぬ。

正に、世界一哀れで、貧乏で、腹ぺこだった。だが、思い出します。その時に燃えるようなものがあつた。それは、生きている感動であります。戦争が終わつた。死ななくてえんだ。解るかなあ、その歳の頃。生きている、もうそれで十分ではないか。大豆滓で薩摩芋の葉っぱと茎でも、生きていて、それで十分ではないか。

この生きている感動は、次の三つによつて大きく促進されました。

それは、実際の国家権力＝軍隊から完全に解放されたという「開放感」、何でも喋れる、何でも話せる、何でも布教できるという「自由」、そして、これからこの日本を我々の手で復興し、陽気ぐらし社会の平和と幸福な人類社会をこれから創るんだという「ロマン」があつた。全てを、物質的な全てを失つた貧しいどん底の中にあつて、この「解放」・「自由」・「ロマン」に支えられて、私から青年は、生きていく感動をジツと噛み締めたことを思い出すのであります。

「二十世紀の奇蹟」を支えたもの

その可愛い日本民族が、今や最も可愛気のない欲ボケ民族に陥つたのであります。その実態を今

から簡単に申し上げる。

その昭和二十年からわずか三十年、二十世紀の奇蹟であります。日本は、昭和五十年ぐらいに、既に世界一豊かな国になつたのであります。ダン・トツの豊かな国になつたのです。これを「二十世紀の奇蹟」と言われるのであります。

それは、「日本人は賢い。日本人はよう働く。賢くつて勤勉である。ややつ！二十世紀の奇蹟が起こつた！……、それも、確かに一つの要因でしょう。しかし、皆さん、忘れてはならないことがある。この「二十世紀の奇蹟」を作つた、経済成長を支えとるんには、次の三つの要因があつた。

一つは、昭和二十五年、突如始まつたあの朝鮮半島での大動乱であります。三年間に亘つて、アメリカ・韓国・北朝鮮・中国の四つの国が、約二百万人が死亡するという、大きな血が流れたんであります。それによつて日本で造るものは何でも売れた。これを「朝鮮特需」と言ふんです。世界一貧乏になつた日本経済が、最初に復興の手掛かりを掴んだのは、あの朝鮮半島における大動乱であつた、あそこで流された血であつた、それを日本人は忘れてはならないのであります。「神武景氣」という言葉が流行つたのがその時であります。

第二番目は、日本は、平和憲法によつて、ある金を全部金儲けに注ぐことができた。世界の多くの国々は、軍備に力を注いでいるときに、日本人は、儲け、儲け、また、儲けと、儲けに狂うたん

です。それで、我々は、平和憲法のお陰と戦争放棄。しかし、同時に、世界一のアメリカ軍事基地に衛られたということもまた事実として忘れてはなりません。

しかも、我々は、昭和二十六年、サンフランシスコ講和条約で、ついに独立した。昭和二十六年であります。ところが、我々は、沖繩県をアメリカの占領下において内地だけ独立したんです。沖繩が日本に復帰したのは、その後、二十一年後の昭和四十七年のことであります。その間、沖繩県は占領地として、問答無用で土地が取り上げられて、今、問題になつてきているアメリカの軍事基地が、片っ端から造られたんです。現在においても、在日米軍基地の七十五%が沖繩にあるという事実を我々は忘れてはならないのであります。

「特別の御高配」(前述)が、こういう御高配やつたんです。そのために、沖繩県民所得は、今の東京都民の半分であります。失業率は無茶苦茶高いんです。これが、第二の「沖繩県民の涙」であります。

第三は、昭和四十三年代に起こつたベトナム戦争であります。四十年代、あのベトナムで、アメリカとベトナムが凄まじい戦いを演じた。また、日本経済は売つて、売つて、また、売つてと、もの凄く、あれで、所得倍増になつたんです。そして、お忘れになつてないと思う、「昭和元祿」という言葉さえ流行つたのであります。

私たちが、「二十世紀の奇蹟」と言つてい

の日本の豊かさの裏には、勿論、日本人の「賢さ」と「勤勉さ」があつたでしょうが、その他に、「朝鮮半島に流された夥しい血」、「沖縄県民の涙」、そして、「ベトナム人の血と涙」があつたところを、我々は、絶対に忘れてはならないのであります。

それを全く忘れ去つて、あたかもこの豊かさが、我々だけの手のような顔をしている日本人、私は、二十一世紀に、この日本人に未来はないと思うのであります。

本当に「生活が苦しい」のか

正に、今の日本人は、「飽くなき欲望」であります。果たして、日本人は、皆さん、これでいいのでしょうか？

ご存じのように、今、日本は、「不景気」の大合唱であります、新聞読んでも、何でも。それで、不景気を何とか回復するというので、政府が無茶苦茶に国債を発行して、無茶苦茶、景気付けであります。

事実、去年の厚生省の調べでは、「生活が苦しい」と言ってる人が、五十%を超えました。日本人の半分以上は「生活が苦しい」と本当に言ってるんです。

自教会の月次祭の後、直会で話しますと、「おい、どうや。うまいこといってるか？」「い

やあ、会長さん。生活が苦しいですわ。」つて、皆言うんですよ。もう、腹の立つ。ありやねえ、「おつくしせえ！」言われるの予防線やと思うんです。顔見たら、「会長さん。生活が苦しいですよ。」必ず、「アホー！」言うんです、「お前に『おつくしせえ』なんか言わんわい」言うて。「今の日本で、『生活が苦しい』なんて、お前、言わな損みたいなんして言うな！もう、ホント。」ところが、日本人の意識調査で五十%以上は「生活が苦しい」と言っているんです。

その証拠にねえ、自殺者が激増しているんです。昭和(千九百)九十五年〓二万人、九十六年〓二万二千五百人、九十七年〓二万四千人……自殺者の数であります。九十七年〓二万四千人、そして、去年の九十八年〓三万二千八百六十二名。ブアアツと上がったんです。だから、やっぱ、ほんまに苦しいと思うとるんです。だって、自殺するんやもん。

しかも、驚いたことに、去年、戦後伸びる一方だった平均寿命が、男子に関しては、初めて減つたんです。その理由は、中高年者の自殺であります。まあ、女は厚かましいからな、八十四まで生き、男は、僕みたいに弱気やから七十七まで生き、こんなにかいたことはないんです。ま、それはどうでもいいことです。

だから、生活が苦しい、自殺者は激増する、何と、男子の平均寿命まで下がる、ほいで、「ストレスがある」と答えている人が、労働省の調査で

約七十%。新聞読んだら、大きな会社の合併、合併……ほいで、アホの一つ覚えみたいに、リストラ、リストラ、リストラ……と、こう出てくるんです。どっかの政党みたいなんに「地域振興券」とか言うて、「二万円ただでやる」から経済回復。これ、気がおかしいんとちゃうかと、私は思いません。一体、二万円もろて内需拡大する日本ですか。現実には、生活が苦しい、死ぬ、平均寿命下がる、リストラ、就職難……ホントに皆、思い込んでるんです。

「生活が苦しい」わけ

そこで、この絶望的な民族の実状はどうであらうか、これから申し上げることを、皆さんも真剣に考えてもらいたい。

生活が苦しいという意識はどこから出てくるのか、よう聞いてくださいよ。今の日本人には絶対必要な金が四項目ある。皆さん、自分のことですよ。

一番、「子どもの教育費」。ハイ、子どもの教育費に何ぼ使ってる、一年間に？国立大学・私立大学遣らしてみい、何ぼ掛かる？へえから塾へ、小学校から塾へ遣らす。一年に幾ら掛かる？これが、先ず絶対必要費なんです。死んでも、これは要るんです、自殺しても要るんです。これが、民族が絶望だという所以なんです。

二番、「住宅ローン」。昔は住宅持つつていうのは、「まあ、定年して退職金もろても持とか」、今は、もう三十代が住宅ローンで、もう、金融公庫から借りて、皆、住宅持つとるんですよ。そのローンを払わんなんですよ。もの凄い金ですよ。年間。若い子ども・息子らに聞いてごらんさい。分譲住宅買って、もう三十代で家持ちですよ。そん替わり、住宅ローンはバットと払うていかんらん。これも、また、死んでも要るんですよ。

三番が「生命保険」。あんたらも入つてるやろ、皆。「貯金」やで、あんた、生命保険ちゅうのは。

四番、「自動車」持つとるんですよ。これ、絶対要るんですよ、若者は、自動車。家のがうても、飯喰わんでも、自動車要る言うんです。これ、ホントですよ。あんたらも、皆、自動車乗せてもろてるやろ。歩いて来い、お前、ここ、月次祭ぐらい。

(聴衆の笑いに対して) いやいや！ 今の四つ、覚えといてな。「子どもの教育費」、へえから「住宅ローン」、「生命保険と貯金」、先ず、抜きよんねん。せえから、「自動車」。自動車、幾ら掛かるか、後、計算してごらんさい、減価償却から入れたら。この四つを全部抜いて、残りで「生活苦しい」、「生活苦しい」言うとんです。この四つは、今の日本人は、生活に関係なく要るんです。本当は、自動車の替わりに「おつくし」つて入れたらええねやけども、「自動車」。情けないでしょう。ほんで、残りで「苦しい」、「苦しい」言うてるん

です。生活が苦しかったら、自動車止めえよ。環境にもええしねえ。そりや、自殺しても自動車は要るんです。

これ、現状なんですよ、皆さん。その証拠に、一体、今の日本人、どれくらいもろてると思いますか。一番標準の国家公務員。国家公務員の、今度、下がった、ちよつと、ボーナスカットして、その下がった額で言うんですよ、二十五歳〓三百二十万です、年俸。三十五歳の係長〓五百六十万です。四十五歳の課長〓千二百万です。笠岡市の部長〓二千万です。これ、公務員がそれだけでもうてんですよ。笠岡の市役所の公務員、地方公務員に聞いてごらんさい。

もう一回言う。二十五歳〓三百二十万。よおけえもろてるくせに、もつとちゃんとおつくしなさい、あんた。で、三十五歳〓五百六十万。四十五歳〓千二百万やでえ。普通の公務員やで。部長〓二千万円。

ほんで、民間企業は——その公務員ですよ、今のは、国家公務員ですよ、今言うたのは——それだけの収入から、今の四つを先、引きよるんですよ。で、残りで「生活が苦しい」、「苦しい」と、こう言う。

世界の現状を知れ

ついでに言つときますがね、この、私に言わし

たら「ボケタレ日本人」に、隣の十二億の中国人、平均年俸、幾らか知つてますか。五万円です、平均したら、GNP(国民総生産)一人当たり、十二億人の。これ、世界の現状ですよ。

現在でも、中国の絶対貧困層、一番貧乏な層、八千万人おる、中国政府の発表ですよ。八千万人の中国の絶対貧困層の年収は、わずかに五千円ですよ。年収五千円ですよ、現代やで、八千万人やで、中国の。そして、だから、その人らの月給は五百円やで。

私の大好きなラオス。ラオスの平均年収〓二万円ですよ。

こつち(日本)は、先言うた数字、分かるでしょう。現在でも、日本は、やはり世界一豊かな国であります。

大体、不景気の実相を申し上げます。さあ、自分らの家庭の通い(通い帳・通帳)を浮かべる。三人所帯で、平均の貯蓄率〓千三百万円です。「はあ？ 私ども、無い！」てな顔してるけども、あかん、統計や。

あの、六十五歳以上の所帯主な、年寄りの、平均して、二千三百万円ぐらい持つてるよ。だから、いろんな年寄り目掛けてね……。金持ちですよ。そんなこと言うたつて、皆さん、「私とこ違う」つてな顔してるけども、ほんなら、解り易う言おうか。郵便貯金、一人当たり、二百十三万円です。

ということは、三人家族で六百万円です。ちよつと！ 郵便貯金の通い、浮かべてみ、目に。六百

万円ぐらいあるよ。あるやろが。

現実なんですよ。しかし、三人家族で、皆さん、考えてごらんさいよ、郵便貯金、六百万円あるよ。それで、何で、死なんならんねん？ なんて、生活が苦しいのかな。

外貨準備高ちゅうのあるでしょ、日本が持つてる金、ドル、ドル、世界一、日本、ダントツやでえ。三十兆円。これも、他の、二等なんか問題にならん。日本が、ドルを……。

あんな、ドイツ・フランス・イタリアとか、ユーロランドつてあんねん、ユーロ。知ってるでしょ、ユーロツパの十一の国や。十一の国がユーロランドで集まって持つてるドルが三十二兆円やで。

日本は一つの国で三十兆円やで。何が「不景気」やねん、おかしいよ。

だから、貿易黒字、知ってるでしょ、計上黒字、毎年十五兆円やないですか。その十五兆円、黒字ですよ。それが、国家公務員の給与を賄ってるんですよ。

「不景気」、「不景気」、「自殺する」、「平均寿命下がる」……。今年、海外旅行行ったん、戦後最高やで。知ってますか。今年の海外旅行者は千六百三十万人になるぞ。近い将来、二千万人を超えるちゅうんですよ。「生活が苦しいですわ。」

言うて、六人に一人は、赤ん坊も入れて、外国行くんですよ。これ、現実なんです。特に今年なんかは、「三世代旅行」ちゅうのが流行ってるんですよ。爺と婆と若い夫婦と孫、もうあの、かつて、

一番外国旅行で盛んやったOLが行かへんのですよ。JTB（日本交通公社）が調べて、「何で行かへんねや」言うたら、「もう、買うもの買うてしもた」ちゅうんですよ。もうホント、これはホントですよ。もう若い女の子は、ブランド物なんか、もう買うてしもうたんですよ。

「失業」、「失業」、「失業」。九月〇四・六%ですよ。やはり、世界で一番少ないんですよ。

しかし、新聞は書き立てる。この間もね、大卒は、大卒の就職率は、もう六十%切れるか、ワアワア言うてるじゃないですか。

しかし、今年の四月のリクルートの調べでは、大学卒業者の就職率〇六十・一%ですよ。六十・一%やけれども、就職口がないんちゃうで。就職せやへんねやで。大卒の三十%は、する気がないんですよ。

こんな日本は、どうなると、皆さん、思いますか。

する気がないっていうのはね、確かにええ会社は採用が減ってるんですよ。自分の行きたいところがない。しかし、ちよつと我慢すれば何ぼでもあるんですよ。「それは、いかん。」で、いかんでも、アルバイト市場は何ぼでもあるんですよ。この間も、偶然、テレビ見とったら、若い大学生が「就職しません」言うて、「何で?」「せんでも、死ぬわけやないし」ちゅうんですよ。これホントですよ。アルバイトはね、何ぼでもあります。パートとアルバイトの口は何ぼでもあります。

これが、日本の現状であります。我々は、今も世界一豊かです。もつと、もつと、もつとに比べたら、そんなに伸びないというだけなんです。豊かなんですよ。

我々の失ったもの

その替わり、その豊かさを我々が得るために、失ったものが余りにも多い。皆さん、何を失ったと思いますか。

まず、教育が完全に荒廃した。ご存じでしょう。その一番根源は、偏差値教育であります。偏差値ほど、非人間的評価はありません。だから、確かに偏差値の高い者は、経済成長の兵隊作るのにはええんですよ。しかしながら、人倫道徳は完全に消失してしまつて、塾通いは、もうどんどんどんどん低年齢化する、いじめが深刻、偏差値のために落ちこぼれ・不登校、そして、学級崩壊なんて考えてもいなかつた時代が、今、全国で起こってるんですよ。

家庭の崩壊、離婚率の激増、もう既にご存じでしょう。そして、経済成長、すなわち、拡大再生産になじまない農業・林業・漁業は荒廃の一途です。文学と芸術は、日本にはありません。そして、環境破壊、もう今日は言いません、分かっていることと思うから。産業廃棄物。原子力発電を拠点とする……。もう日本列島はガタガタであります。

日本は、世界最高の豊かな物質文明社会を作り上げました。同時に僕たちは、精神的にも肉体的にもポロポロになってしまった。豊かさは、死ぬことよりも大切になってしまった。そして日本人は、その哀れさに気付いていない。

わずか五十年前、敗戦の廃墟の中で、感動した「解放」・「自由」・「ロマン」は色あせて、「死ななくてもいいんだ。生きている。それで十分ではないか。」という価値観など、どっかへ行ってしまつとるんであります。

二十一世紀に僕たちが求めねばならないのは、名誉欲・物欲の奴隷から解放されることであります。

勇氣と情熱、そして、行動

この混迷の時代に天理教者の使命は、一体、何なのです。欲ボケに、また御利益売って、「欲ボケ促進教」になるんですか。

日本のみならず、現在の人類を支配している価値観、それは、経済成長による物質文明社会の反映であります。その勝利者になるために、二十世紀ほど人間同士が殺人を繰り返したことはなかったものであります。おそらく、後世の人は、この二十世紀を顧みて、「虐殺の世紀」と、二つの世界大戦を始めとして正に「虐殺の世紀」と言うであろうと言われているのであります。

一体、皆さん、二十世紀に、宗教家は何をしようとんですか。「全人類的高等宗教」と言われて、先進国人類の大半を信者とする一神教ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、あの一神教は、生存競争の論理を確立して、競争原理が支配する社会を正当化する役割を演ずるにいたりました。その結果、勝たねばならないという「虐殺の世紀」が出現したのであります。

また、一部新興宗教は、明日の御利益に焦点を当てることにより、人々の欲望を促進する役割を果たしているに過ぎないのであります。

今、僕たちにとつて大切なことは、物質的欲望の奴隷となつて過つての民衆に迎合するんじゃない、この間違つている民衆におべんぢやをするんじゃない、民衆を叱りつける勇氣と情熱を持たねばならない、私は、そう思います。

昭和の初め、私たちの先輩は、「人類救済」を高々と叫んだんです。「人類救済」、今、その情熱あります。ちよつとぐらい信者増やすことじゃないんです、「人類救済」。そのための方法は、「人間更生」であります。御利益ばらまいて信者増やすような新興宗教じゃなくつて、人間を更生さす、「人間更生」によつて人類を救済しようという旗を高々と掲げたのであります。

その時、欲に切りない泥水のほこりを打ち払つて、「我さえよければ、今さえよければ」という飽くなき欲望の情眼から目を醒ませと、民衆に訴えたのであります。

私が、子どものころ、路傍講演に行ったときに、「闇も漆黒も打ち払い人よ眠りの夢醒ませ」。素晴らしい誇り高い信仰じゃないですか。「闇も漆黒も」というのは「欲に切りない泥水」のことですよ。

おい！ 笠岡の人々よ！ 「我さえよければ、今さえよければ」という「闇も漆黒も」「欲に切りない泥水」の心を入れ替えて、笠岡の人々よ！ 「人よ眠りの夢醒ませ」という勇氣と情熱が我々にあるかどうかということなんです。

かつての先輩は、堂々とその歌を歌つたんです。お年寄りで覚えてるがな。

闇も 漆黒も 打ち払い
人よ 眠りの 夢 醒ませ

ジャン ジャン
いうて路傍講演行つたんですよ。

私は、今こそ、民衆を叱咤激励する情熱を取り戻さねばならないと思うのであります。

今こそ、天理教者が、互い立て合ひ扶け合う一れつ兄弟の信仰を確立しなければならぬと思ひます。

『諭達第一号』にお示しくださるるうちに、今こそ、人々に、元なるをやを知らしめるときであります。

あそこ（諭達で前述の箇所を拝読したとき）でも、もう、涙が噴き溢れてきたのであります。ここに、我々天理教者の信仰の実践の焦点があります。

私は、四十代の青春に、アフリカへ医療伝道に行きました。また、ラオス巡回医療奉仕団に参加しました。私の目の前で、飢えて死んでいく人々をいっばい見ました。

今でも、世界は飢えているのであります。その人々に、元なるをやを知らしめるのが我々の使命であります。

しかし、皆さん、布教とは、単なる知識の普及ではないのであります。学問の世界ではないのであります。「親神様が元なるをややぞ」つちゅうんなら、パンフレット配つとつたらええんです。それは、知識の世界です。我々にとつて、アフリカの飢えている人々に、元なるをやを知らすという事は、その飢えている人々が、自分の妹であり自分の弟であるという、一れつ兄弟の自覚と実践を伴わなければ宗教ではないのであります。

知識を伝えることだけが信仰ではありません。一れつ兄弟の実践。宗教とは、理論ではなくって、実践し体験する世界であります。信仰するということは、理解し納得してから始まるのでは断じてありません。

「ほお、これはええ宗教や、なかなか。よう、分かった。」ほんなもん信仰せんでもええんです。分かったら。信仰の世界は、納得して、「はあ、分かった。」というて始めるんじゃないんです。先ず、行動するんです、行動を。黙って行動せえちゅうんです。そして、信じて行動することから始めるのであります。

生存競争に勝利して、自分だけが「我さえよくば、今さえよくば」の道を歩むのじゃなくって、論達にお示しくださるよように、慎みとたすけ合いの精神を広めることにより世の立て替えを図るべき時であります。

二十一世紀の人類は、我々天理教者の行動を待っていると思います。生きながら生まれ更わるという価値観の大変革であります。

そのことは、我々が、論達で一貫してお示くださるよように、人を救ける心になるということでもあります。「我が身どうなつても人様に救かつてもらう」という心になる、それが、今日、我々に求められている行動であろうと思います。

ひながたの道がある

「実際、具体的に、どうしたらいいか分からない。」ということをよく聞くんです。「ふざけたこと言うな！」って言うんです。「分からないんじゃないんじや。」と、「せんだけのこつちや」言うんです。

で、「人を救ける言うたつて、どうするんですか。」って……。ようけえいますよ。先言うたよに「先、行動せよ。」と、「何するんですか。」「ひながたの道を歩め。」

ひながたの道は二つの柱によって支えられているんです。

天保九年十月二十六日、「難儀の底に落ち切れ」。ひながたの道の大きな柱です。

ということとは、我々よふぼくは、先ず、今より質素になるということから始めるんです。今より不自由になる気がなかつたらよふぼくではない。

で、それは、その人の能力に依じて、ちよつとずつでもやつたらよろしい。一遍に頭へきて「家売つてしまおう！」なんて言わんように。いや、言うてもええんやけども。はあ、言うても構わへんけども。一遍に跳ね返らんでもええ。

今よりも質素になることによつて、おつくしをしよう。そのおつくしで、人を助けるんですよ、飢えてる人を。

もう一本の柱、明治二十年陰曆正月二十六日、世界中をたすけるために、教祖は、二十五年、定命をお縮めくたさつたんですよ。

自分の命縮めて、救かつて欲しいとおたすけしたとあります。冗談でも言えるもんじやありませんよ。

笠岡のよふぼくが興奮して、「後、残り全部、命差し上げますから、助けてください」て言うて、全部、明日、死んだら困るから、一遍に興奮せんでもええけれども、しかし、究極は自分の命を切り詰めて人を救かつてもらう、その先頭に、「二十五年先の命を縮めて、今からたすけに出る」と仰つた教祖がおられるのであります。

なかなか、おたすけのときに、僕も一生懸命おさづけを取り次いで頑張つてますけども、なかなか

大教会だより

か、自分の命を縮めてとまでは言えませんが、笑い話になるかも知れんけども、興奮したらやりますね。憩いの家の胸部外科部長のときに手術した、八十のこんな肺ガンのお婆さん。「どうせ、あかんぞ」と思うて、そうが上手いこと採れた。その晩、危篤状態。「わあ、えらいこつちゃ〜」と思て、思わず「あしきはらひ……」興奮状態やな、こつちも。そりゃあ、自分が下手したのんたたら適わんからね。そのときに、「どうぞ、十年、寿命を縮めます」からつて言うたこと覚えてますなあ。そしたら、あんた、奇蹟的によくなつた。そこまでは、よかつた。後、そのお婆さん、死なんと退院した。で、外来へ来る。そいで、そのお婆さんの顔見るたびに、こつちが、ぞおくととして、お婆さん見るたびに、「あつ、また、一年減つた。」

と。「まだ、生きとんのか。」そんな言われへん。そういう明るい心でね、今より質素になろうという難儀の底に落ち切ろう、定命を縮めてまでも世界だすけにお働きくださる、その教祖五十年のひながたの道を目標に、私たちはたすけ一条の道を歩み抜きたいと思うのであります。このひながたの道は限りなく深い。各人の成人に依じて、どこまでも、まだまだ、やるしかない、着実に深めていく、それが、私どもの具体的行動と信ずるのであります。今、求められているのは、生きながらにして生まれ更むるといふ価値観の変革であります。どうぞ、皆さん、約五十年前に、一切の国家権力・軍隊権力からの「開放感」に満ちて、何でも喋れる、何でもできるという「自由」に支えら

れて、これから我々が世界を救うんだという「口マン」に輝いた、その一番大きい根底は、名もななく、貧しくても、死ななくてもいいんだ、生きていくそれで十分ではないか……。この生きていく感動、「御守護先取り」の感動に目醒めて、人々に元なるをやを知らしめて、誇り高いよふぼくの道を、皆様、共々に歩み抜きたいという、一教会の信者としてよふぼくとしての思いを、皆様に申し上げて、本日の私のつとめを終えたいと思います。ご清聴、心から感謝いたします。ありがとうございました。(文責：編集部)

II 教会指令 II

◎移転建築願

西 伯 分教会

*現在地

鳥取県西伯郡名和町大字

富長七一二番地

*移転地

◎任命願

作 備 分教会

*前任 三宅 一正

*新任 三宅 俊正

☆奉告祭 立教163年3月19日

鳥取県西伯郡名和町大字
高田一二三番地一

☆鎮座祭 立教163年4月29日

☆奉告祭 立教163年4月30日

立教162年11月26日承認

◎直轄教会春季大祭参拝

立教163年12月26日承認

福山	武内	清
高屋	田中	一之
神邊	大教会	奥様
島根	大教会	長様
久松	岡本	久善
鶴山	武内	清
弥高山	田中	一之
陽備	大教会	前奥様

金浦	田中	一之
興明	岡本	久善
ひろさと	田中	一之
陶山	岡本	久善
芳井	大教会	奥様
呉照	大教会	奥様
海松ヶ岡	大教会	長様
東悠	門脇	誠教
吸江	上原	繁道
照陽	岡本	久善
輝美濃	門脇	誠教

立教百六十二年十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には 一列の子供がかわいいとの真実の親心ゆえに 只自由の御守護を下さるばかりでなく 悪いところは引き 届かぬところは足して下さって 少しでも陽気ぐらしが出来るとお働き下さり お育てお導き下さいませ事は 誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々結構に生かされていることの喜びを感じ 朝夕に御礼を申し上げますと共に 成って来る理に 助けたいとの親心を悟り その思召に少しでも応えさせて頂きたいものと「人を助けて我身助かる」のたすけ一条の上に届かぬながらも勤めさせて頂いております

その中に 今日の吉日は 早くも本年納めの月次祭を執り行う日柄となりました 改めて一年を振り返ってみますと 昨年 真柱継承の時に御発布戴いた諭達第一号の実践の年 加えて 笠岡創立百十周年に向かう三年千日歩み出しの年として 「ためらいを捨て勇んで百万軒」を合言葉に 勇んでにをいがけに出させて頂きました そんな中 一月から三月にかけて諭達巡教を行い三月から六月にかけて教会長講習会の実施 九月から十二月にかけてようぼく躍進地方講習会に参加と 駆け足で進む中にも にをいがけは 確実にじつくりと勤めさせて頂きましたので 十月末日には百万軒を超え十一月には百万軒達成喜びの集いを勤めさせて頂くことが出来ました 百万軒達成出来た事は もちろん嬉しい事に違いませんが それよりも 皆が心を一つに揃えて勤めさせて頂くことが出来 それによって喜びが弥増した事がより嬉しく 改めて親神様のお導きに御礼を申し上げる次第でございます

さて 只今から そのお礼心を披瀝したいものと 年の瀬の慌ただしさを厭いませず 寄り集いました道の子供達と相共に おつとめ奉仕者一同 地唄 鳴物の調子も高らかに 明るく陽気に勇んで 座りづとめてをどり 勤めさせて頂きます 皆の勇み心をご覧下さいませ 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます 又来年は 今年の実績とそれによって培われた自信に加え 諭達に込められた親の思いを胸に より勇んで にをいがけを主体とした たすけ一条の上に邁進させて頂く覚悟でございます

何卒 親神様には 親の声を頼りに 混迷を極める人々の一筋の光明に成るべく 精一杯勤め切る皆の真実をお受け取り下さいまして 万たすけの上には 不思議自由の御守護をお現し下さいまして 西暦二千年の切りの良い年が 喜びと希望に満ち溢れた一年になりますよう お導きの程を 一同と共に慎んでお願い申しあげます

新山邑	大教会 奥様
皆部	大教会 奥様
明石市	上原 繁道
上下	上原 繁道
府中市	武内 清
東城	大教会前奥様
服部	大教会 長様
島中	武内 清
驛家	大教会 長様
油木	岡本 久善
葦陽	大教会 長様
湯田原	大教会 長様
備中	武内 清
神昭	大教会前奥様
美之郷	上原 繁道
錦備	上原 繁道

※訂正とお詫び

『かさおか』第38巻第12号(先月号)7頁の「第七〇一期修養科修了者」のうち、最初の八名(福勇・鳥井真也から驛家・唐川智名まで)は、第七〇一期の修了者ではなく、掲載済みの前期の修了者でした。ここに訂正し、お詫びいたします。

ふたことのみこと

元旦の朝、お屠蘇をいただきながらフト思った。何の気なしに「おとそ」といつているが、この言葉にはいったい何の意味が含まれているのだろうか、と。

早速辞書を繙いてみた。

「屠絶悪魂、蘇生人魂」とある。この漢字を読めば誰でも意味が分る。更に、「酒にひたして年始に飲む薬」とある。詳しい説明は省くとして、年末に一年の来し方をふり返れば、反省することのみ多かりきである。自分の持つ「八つのほこり」を絶ち切り、改まる年に改たまる自分を作り上げていこうと努力するのだが、凡人の悲しさ、アツという間に一年が過ぎ去る。立教百六十三年の新春に、大教会より親の声が打ち出された。お互い新たな心で取り組んでいき、充実したアツという間の一年にしたいものである。(か)

立教百六十三年元旦祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい 一条の親心と御守護のお陰を持ちまして ここに芽出度く 立教百六十三年の新年を迎えさせて頂きました 一同と共に、心より御礼申し上げ 新年のご挨拶を申し上げます 新年明けましておめでとうございます 昨年一年の御礼と共に 今年一年も変わります 親心と御守護の願いを申し上げたいと存じまして 只今から明るく陽気に勇んで 座りづとめてをどりをとめて 元旦祭を執り行わせて頂きます 御前には 寒さ厳しき中をも厭わず 朝早くから寄り集いました 理に繋がる道の子供達が 相共に 同じ思いで 伏し拝む状を御覧下さいまして 親神様にも お勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 本年は 世上では 西暦二千年という切りのよい年であり その節目を利用し バブル後の不況を吹き飛ばしたいとの 思惑も交差して 少しでも意義有る年にしたいという事で 多少盛り上がりを見せておりますが 私共は「なさない」とのよにしゃんしたとても 人をたすける心ないで」とのお言葉をしっかりと思索し 経済の復興に先行する心の復興を目指し 昨年ようばく躍進地方講習会で たすけ 一条の実践を誓い合ったその思いと 百万軒にをいがけを通して 培った実績と自信を基に 笠岡創立百十周年に向かう二年目の年として ふさわしい一年になるよう たすけ 一条の道を邁進させて頂く覚悟でございます

何卒 親神様には 成人鈍い私共を 温かくお見守り下さいまして 至らぬ所は 幾重にもお仕込下さり 旬々に自由の御守護をお現し下さいまして 一人でも多くの子供が成人できる一年になりますよう お連れ通りお導きの程を 年の初めに当たり 一同と共に 慎んでお願い申し上げます

立教163年 教会長講習会のご案内

- 日時：立教163年2月・3月・4月に分けて、
26日 午後2時 受付～27日 正午（1泊2日）。
- 会場：笠岡詰所。
- 受講お供：3,000円（当日、会場受付に出して下さい）。
- 内容：講話「教会長とは」高田吉郎先生、ねりあい「大教会実践項目について」他。
- 携行品：ハッピー、回廊ひのきしん用「スネ当て」。

婦人会 委員研修会のご案内

- 日時：立教163年2月21日（月） 午後2時 受付、2時半 開講、
22日（火） 昼食後解散。
- 場所：笠岡大教会。
- 対象：笠岡支部委員、直轄委員部長。
- 参加御供：1,000円。
- 内容：支部長挨拶、大教会長様御話、練り合い、お楽しみ行事、等
- 持参品：500円程度の品（景品に使用）。

※平成11年度会費未納委員部は納入下さいますようお願い申し上げます。

立教163年 定期巡教表

教会名	巡教月日	巡 教 員	教会名	巡教月日	巡 教 員	教会名	巡教月日	巡 教 員
廣 町	2月13日	中村 剛	御 野	2月 8日	門脇誠教	大江橋	3月 5日	中村邦義
福 廣	2月 7日	佐藤道孝	香地華	3月 9日	上原繁道	品 治	2月 7日	岡本久善
福 勇	3月1 1日	岡本久善	真 金	2月1 1日	岡本久善	久 福	2月 8日	吉岡 壽
福 芦	2月 9日	大教会長様	仲 條	2月 8日	大教会前奥様	久 津	2月 9日	佐藤道孝
福 満	2月 8日	大教会長様	稲 倉	2月1 3日	門脇誠教	呉 福	3月 5日	武内 清
福 岩	2月1 2日	武内 清	稲 瀬	2月 5日	岡崎輝夫	鶴 南	2月 8日	中村 剛
西 村	3月1 0日	上原繁道	稲富士	2月1 5日	岡崎輝夫	鶴 眞	2月1 0日	大教会前奥様
福 年	3月 7日	大教会長様	稲 讚	3月1 0日	大教会前奥様	川島郷	2月1 0日	大教会奥様
引 野	2月 6日	大教会奥様	門司港	2月1 2日	門脇誠教	鴨 方	2月 6日	中村邦義
福 昭	3月1 1日	大教会奥様	大恵山	2月1 2日	大教会長様	作 備	3月 6日	大教会長様
福 春	2月 5日	上原繁道	東水島	2月1 0日	大教会長様	輝 華	3月1 3日	中村 剛
福 中	3月1 2日	佐藤道孝	高児島	2月 5日	中村 剛	錦ヶ原	2月 3日	上原繁道
福富士	2月1 0日	中村 剛	出 雲	3月1 1日	吉岡 壽	行 藤	3月1 1日	大教会前奥様
福 東	2月 9日	岡本久善	瑞 雲	3月 6日	岡本久善	眞 府	2月 9日	上原繁道
東福山	2月 6日	門脇誠教	海潮川	3月 8日	岡本久善	吉 舍	3月 4日	武内 清
福 南	3月1 3日	門脇誠教	錦 洋	3月1 4日	佐藤道孝	清 嶽	3月 5日	武内 清
福 順	2月1 1日	上原繁道	米 府	3月1 5日	佐藤道孝	上小畠	3月1 0日	武内 清
福 節	3月 8日	大教会前奥様	弓ヶ濱	3月 8日	中村邦義	木津和	3月 6日	河原節喜
福 備	2月 3日	武内 清	西 伯	3月 9日	中村邦義	國 須	2月 7日	大教会長様
福 輝	3月1 3日	河原節喜	米 美	3月 5日	田中一之	上吉野	3月1 2日	門脇誠教
坪 生	2月 5日	佐藤道孝	伯 仙	3月1 0日	岡崎輝夫	上 備	3月 8日	佐藤道孝
八 尋	3月1 0日	大教会奥様	照 雲	3月 6日	田中一之	河 佐	2月 4日	岡崎輝夫
深 安	2月 6日	吉岡 壽	輝 伯	3月 3日	佐藤道孝	上川邊	2月1 2日	田中一之
笠 尋	3月 3日	上原繁道	松 都	3月 7日	岡本久善	甲 井	3月 6日	大教会奥様
芦 品	2月1 3日	大教会奥様	樺 島	5月 3日	吉岡 壽	上 父	2月 7日	門脇誠教
安 那	3月 8日	大教会長様	亀田山	3月1 2日	大教会長様	阿木行	3月 2日	吉岡 壽
芦田川	2月 3日	岡崎輝夫	出雲川津	3月1 0日	中村邦義	宇津戸	3月 5日	河原節喜
三 郡	2月1 0日	吉岡 壽	天場山	3月 8日	岡崎輝夫	河 面	2月 8日	岡本久善
芦 常	3月 5日	上原繁道	簸ノ川	3月1 0日	吉岡 壽	府 鮮	3月1 3日	田中一之
芦 辺	3月 9日	大教会奥様	多古浦	3月1 3日	大教会長様	府世原	3月1 2日	河原節喜
芦加茂	2月 6日	大教会長様	瑞 北	3月 9日	岡崎輝夫	神 驛	2月 5日	田中一之
惠 陽	2月1 4日	田中一之	雲 東	3月1 1日	大教会長様	神 免	3月 8日	武内 清
陽 實	3月1 2日	吉岡 壽	呉 中	2月 8日	大教会奥様	葦 沼	3月 7日	中村邦義

立教163年 教会長講習会班分け

名称	班	月	名称	班	月	名称	班	月	名称	班	月
福山	1班	2月	陽實	12班	4月	久松	11班	4月	上下	1班	2月
廣町	6班	3月	御野	2班	2月	神村	1班	2月	行藤	6班	3月
福廣	14班	4月	香地華	3班	2月	吳中	11班	4月	眞府	9班	3月
福勇	9班	3月	眞金	15班	4月	大江橋	9班	3月	吉舎	12班	4月
福芦	11班	4月	仲條	10班	3月	品治	2班	2月	清嶽	2班	2月
福満	12班	4月	稻倉	14班	4月	久福	15班	4月	上小島	3班	2月
福岩	8班	3月	稻瀬	6班	3月	吳福	7班	3月	木津和	7班	3月
西村	5班	2月	稻富士	3班	2月	久津	3班	2月	國須	10班	3月
福年	6班	3月	稻讚	13班	4月				上吉野	1班	2月
引野	13班	4月	門司港	14班	4月	神邊	5班	2月	上備	13班	4月
福昭	7班	3月	大恵山	4班	2月	鶴山	8班	3月	府中市	8班	3月
福春	7班	3月	東水島	11班	4月	鶴南	9班	3月	河佐	4班	2月
福中	15班	4月	高兎島	4班	2月	鶴眞	12班	4月	上川邊	14班	4月
福富士	13班	4月				弥高山	11班	4月	甲井	8班	3月
福東	2班	2月	島根	12班	4月	陽備	5班	2月	上父	9班	3月
東福山	3班	2月	出雲	3班	2月	川島郷	2班	2月	阿木行	14班	4月
福南	4班	2月	瑞雲	8班	3月	鴨方	8班	3月	宇津戸	10班	3月
福順	6班	3月	海潮川	12班	4月	摩耶	2班	2月	河面	11班	4月
福節	5班	2月	錦洋	1班	2月	金浦	7班	3月	府鮮	7班	3月
福備	10班	3月	米府	4班	2月	興明	4班	2月	府庄	15班	4月
福輝	1班	2月	弓ヶ濱	10班	3月	ひろさと	9班	3月	府世原	10班	3月
高屋	10班	3月	西伯	13班	4月	陶山	6班	3月	東城	6班	3月
	15班	4月	米美	9班	3月	芳井	3班	2月	服部	8班	3月
坪生	5班	2月	伯仙	2班	2月	吳照	13班	4月	島中	15班	4月
八尋	6班	3月	照雲	11班	4月	海松ヶ岡	7班	3月	驛家	11班	4月
深安	13班	4月	輝伯	6班	3月	作備	3班	2月	神驛	1班	2月
笠尋	11班	4月	松都	5班	2月	東悠	9班	3月	油木	7班	3月
芦品	1班	2月	樺島	14班	4月	吸江	15班	4月	神免	5班	2月
安那	12班	4月	亀田山	4班	2月	照陽	14班	4月	葦陽	9班	3月
芦田川	7班	3月	出雲川津	3班	2月	輝美濃	2班	2月	葦沼	13班	4月
三郡	6班	3月	天場山	1班	2月	輝華	4班	2月	湯田原	14班	4月
芦常	12班	4月	簸ノ川	14班	4月	新山邑	1班	2月	備中	2班	2月
芦辺	5班	2月	多古浦	13班	4月	皆部	8班	3月	神昭	8班	3月
芦加茂	15班	4月	瑞北	9班	3月	明石市	12班	4月	美之郷	2班	2月
恵陽	8班	3月	雲東	4班	2月	錦ヶ原	4班	2月	錦備	10班	3月

都合の悪い方は、他の月の方と交替を相談の上、布教部 笹尾正治(葦陽)までご一報下さい。「班」の欄に網掛けのある方は司会をお願いいたします。